



2024年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 M I Tホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4016 URL https://mit-hd.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 典久
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営推進センター長 (氏名) 三方 英治 TEL 043-239-7252
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第1四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第1四半期	1,241	13.1	53	-	53	-	31	-
2023年11月期第1四半期	1,097	5.6	△9	-	△11	-	△13	-

(注) 包括利益 2024年11月期第1四半期 31百万円 (-%) 2023年11月期第1四半期 △12百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第1四半期	16.05	15.67
2023年11月期第1四半期	△6.64	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第1四半期	2,314	568	24.5
2023年11月期	2,274	551	24.3

(参考) 自己資本 2024年11月期第1四半期 568百万円 2023年11月期 551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2024年11月期	-	-	-	-	-
2024年11月期（予想）	-	0.00	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,260	9.9	200	137.6	186	96.3	99	108.3	50.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期 1 Q	2,109,400株	2023年11月期	2,109,400株
② 期末自己株式数	2024年11月期 1 Q	130,000株	2023年11月期	130,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期 1 Q	1,979,400株	2023年11月期 1 Q	1,979,350株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年12月1日から2024年2月29日)におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の復調や雇用・所得環境の改善など、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、世界的な地政学リスクの長期化に伴う資源価格の高騰及び円安進行による物価高騰や金融政策の変動等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、引き続き、デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みが加速しており、あらゆる産業において、企業の競争力強化のためのIT投資意欲は拡大していくことが見込まれております。

このような環境の下、当社グループは、2022年12月にスタートした中期経営計画(2023年11月期~2025年11月期)の2期目として、重点施策である①人材の確保と育成、②自社商材ソリューションサービスの拡大を中心に取り組み、システムインテグレーションサービスにおいては、引き続き堅調な受注が見込まれる「公共」「金融」「エネルギー」分野のニーズを背景に、人材の確保、キャリア採用、高度技術者の育成を推進するとともに、パートナー企業との連携強化及びグループ企業による共同提案、共同開発などのシナジー効果を高め、高付加価値ビジネスへの変革を推進しております。また、DXソリューションサービスにおいては、当社グループの自社商材である「Wisebook」及び「DynaCAD」の高利益率ビジネスへの選択と集中を強化し、販路拡大の積極的な投資と新たな製品の研究開発に取り組み、更なる受注拡大と収益力向上を目指しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、システムインテグレーションサービス、DXソリューションサービスともに受注が順調に拡大したことにより売上高は1,241,217千円(前年同期比13.1%増)となりました。DXソリューションサービスの増収効果により連結粗利率は1.8ポイント向上の23.9%となり、売上総利益は296,997千円(同22.3%増)、営業利益は53,825千円(前年同期は9,917千円の営業損失)となり、経常利益は53,385千円(前年同期は11,762千円の経常損失)、また、法人税等調整額19,593千円等を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は31,774千円(前年同期は13,135千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであります。主要サービス別の経営成績を以下に示します。

(システムインテグレーションサービス)

システムインテグレーションサービスは、公共・通信・金融・エネルギー・運輸物流等の分野を中心に、社会インフラ系の基幹システム開発及びネットワーク基盤構築の受注を柱にしており、安定した受注の確保を実現しています。当第1四半期連結累計期間は、主要顧客からの受注が堅調に推移し、新規顧客開拓による受注案件の拡大と、それに伴う要員の確保、受注単価アップや高利益率案件等へのシフトが好調に推移したことにより、売上高は1,087,053千円(前年同期比11.1%増)となりました。

(DXソリューションサービス)

DXソリューションサービスは、デジタルマーケティング、図面DXソリューション、クラウドソリューションの各種サービスを行っております。当第1四半期連結累計期間は、自社商材である「Wisebook」及び「DynaCAD」の高利益率ビジネスへの選択と集中を強化し、受注・納品が順調に推移したことにより、売上高は154,163千円(前年同期比28.8%増)となりました。

各ソリューション別の状況は以下のとおりであります。

a. デジタルマーケティング

デジタルマーケティングは、デジタルブックの制作・配信並びに、紙媒体の電子化サービス、電子書籍化サービス、社内文書管理サービス、教育現場での電子教科書への対応及び、閲覧データ解析によるマーケティングツールとしても活用できる「Wisebook」のサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間は、引き続き、プライベートサーバー案件の受注が順調に推移し、前期からの延伸案件を当期で納品したこと等により、売上高は55,393千円(前年同期比35.4%増)となりました。

b. 図面DXソリューション

図面DXソリューションは、CADソリューション(高機能で幅広い互換性を持つ2次元汎用CADである「DynaCAD」シリーズの開発・販売や自治体の電子化に伴うコンサルティング、紙図面の電子化サービス)、ドローンソリューション(ドローン操縦技術者講習サービス)、大規模修繕工事に伴う足場の仮設計画図・外壁下地調査図などのCAD製図サービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間は、CAD製図サービスが牽引して売上高が拡大したことに加え、DynaCAD製品の保守契約による売上及び紙図面の電子化サービ

スの売上が堅調に拡大したことにより、売上高は85,029千円(前年同期比60.8%増)となりました。

c. クラウドソリューション

クラウドソリューションは、認証ソリューション(3D顔認証を始めとした生体認証機器の販売及び入退管理システム、勤怠管理システム、食事予約システムとの連携などによる総合クラウド認証サービス)及び、中小規模事業者向けシステムソリューション、自社クラウドサービスを利用したシステムサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間は、食事予約クラウドシステム「The Meal」の販売が好調であった一方、システムソリューション案件は縮小したことにより、売上高は13,741千円(前年同期比47.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,314,564千円となり、前連結会計年度末と比べて40,270千円の増加となりました。流動資産は1,696,614千円となり、前連結会計年度末と比べて63,545千円の増加となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産の増加62,153千円によるものであります。固定資産は610,165千円となり、前連結会計年度末と比べて22,562千円の減少となりました。これは主に無形固定資産の減少2,021千円及び、投資その他の資産の減少19,045千円によるものであります。

流動負債は1,031,157千円となり、前連結会計年度末と比べて73,419千円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加150,000千円、賞与引当金の増加32,599千円、未払費用の減少98,825千円及び、未払法人税等の減少40,244千円によるものであります。固定負債は715,315千円となり、前連結会計年度末と比べて49,425千円の減少となりました。これは長期借入金の減少25,328千円及び、社債の減少25,000千円によるものであります。

純資産は568,091千円となり、前連結会計年度末と比べて16,276千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益31,774千円の計上及び、配当金の支払いによる利益剰余金の減少15,835千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年1月12日付の「2023年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	766,979	771,795
受取手形、売掛金及び契約資産	818,608	880,762
商品	6,211	5,633
その他	42,304	38,857
貸倒引当金	△1,036	△435
流動資産合計	1,633,068	1,696,614
固定資産		
有形固定資産	78,785	77,288
無形固定資産		
ソフトウェア	86,706	102,532
ソフトウェア仮勘定	131,073	121,022
のれん	62,894	59,293
顧客関連資産	103,481	99,286
無形固定資産合計	384,156	382,135
投資その他の資産	169,786	150,740
固定資産合計	632,728	610,165
繰延資産	8,497	7,785
資産合計	2,274,294	2,314,564
負債の部		
流動負債		
買掛金	205,308	199,019
短期借入金	100,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	94,035	98,534
1年内償還予定の社債	210,000	210,000
未払費用	156,060	57,234
未払法人税等	42,149	1,904
賞与引当金	—	32,599
その他	150,184	181,864
流動負債合計	957,738	1,031,157
固定負債		
社債	465,000	440,000
長期借入金	289,991	264,663
繰延税金負債	9,749	10,652
固定負債合計	764,740	715,315
負債合計	1,722,479	1,746,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,450	291,450
新株式申込証拠金	—	240
資本剰余金	106,330	106,330
利益剰余金	240,109	256,049
自己株式	△92,450	△92,450
株主資本合計	545,439	561,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,375	6,472
その他の包括利益累計額合計	6,375	6,472
純資産合計	551,815	568,091
負債純資産合計	2,274,294	2,314,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
売上高	1,097,840	1,241,217
売上原価	854,941	944,220
売上総利益	242,898	296,997
販売費及び一般管理費	252,816	243,171
営業利益又は営業損失(△)	△9,917	53,825
営業外収益		
受取利息	3	9
受取配当金	72	—
保険解約返戻金	—	5
助成金収入	224	1,877
その他	131	454
営業外収益合計	431	2,346
営業外費用		
支払利息	1,508	2,011
社債発行費償却	710	712
支払手数料	57	62
営業外費用合計	2,276	2,786
経常利益又は経常損失(△)	△11,762	53,385
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△11,762	53,385
法人税、住民税及び事業税	766	2,017
法人税等調整額	607	19,593
法人税等合計	1,373	21,610
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,135	31,774
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△13,135	31,774

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,135	31,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	590	97
その他の包括利益合計	590	97
四半期包括利益	△12,544	31,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,544	31,871
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。